地方整備局等建築設計等委託業務成績評定要領の運用

（令和２年改定）

平成 19 年３月 30 日国営整第 147 号
最終改定　令和２年７月 13 日国営整第 54 号

この運用は、国土交通省地方整備局等営繕部が官庁施設の営繕を実施するための要領として制定したものです。

利用にあたっては、国土交通省ホームページのリンク・著作権・免責事項に関する利用ルール（http://www.mlit.go.jp/link.html）をご確認ください。

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

技術基準トップページはこちら（関連する基準の確認など）
http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html

地方整備局等建築設計等委託業務成績評定要領の運用

平成１９年3月３０日　国営建第 １４７ 号
最終改正　令和２年７月１３日　国営整第　５４号

（評定の方法）

第１　評定者は、評定を行おうとする業務（以下「対象業務」という。）について、別添の採点表により評定を行うものとし、評価項目、評価の視点及び評価細目の変更、追加、削除並びに配点の変更は行わないものとする。

（評価項目）

第２　評価項目は、全ての業務に共通して必要となる基礎的な内容に関する評価項目（以下「基礎項目」という。）及び、創意工夫に関する評価項目（以下「創意工夫項目」という。）とし、評価項目の配点は表－１のとおりとする。

表－１　評価項目

①　建築設計業務、設計意図を請負者等に正確に伝えるために行う業務並びに建築又は建築設備に関する診断業務

項目	評価分類	評価項目	評価の視点	配点 調査職員	配点 検査職員
基礎項目	業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	1	－
		管理技術者の能力（業務全体に関する評価）	業務の全体把握	0.5	－
			工程管理（全体）	0.5	－
			取組み姿勢、責任感の強さ	0.5	－
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	－
		主任担当技術者の能力（担当分野に関する評価）	他分野との調整	0.5	－
			工程管理	0.5	－
			取組み姿勢、責任感の強さ	0.5	－
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	－
	業務の実施状況	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価	記載の程度	2	－
			途中成果物の内容	2	－
		調整及び説明、対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	1	－
			指示、協議事項への対応	1	－
		与条件の理解、業務への反映（設計提案）	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	1.5	－
			仕様書、基準類の理解	1.5	－
			施工に関する一般的な知識（診断業務では評価しない）	1	－
	業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	4	4
			成果物の内容（積算業務、診断業務では評価しない）	4	4
			資料等の整理、指示、協議事項への対応	－	4
小計				23	12
合計				35	

※積算業務及び診断業務を単独で発注する場合は、小計、合計が異なる。

創意工夫項目	業務の実施状況	調整及び説明、対応の迅速性	設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	－
		提案力、業務執行技術力	創意工夫、積極的な提案	1.5	－
			専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	1.5	－
	業務目的の達成度	課題への対応	物理的条件、社会的条件	2	2
			要望、コスト	2	2
小計				8	4
合計				12	

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

②　①以外の建設コンサルタント業務（建築工事監理業務及び敷地調査業務を除く）

項目	評価分類	評価項目	評価の視点	配点	
				調査職員	検査職員
基礎項目	業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	1	－
		管理担当者の能力（業務全体に関する評価）	業務の全体把握	0.5	－
			工程管理（全体）	0.5	－
			取組み姿勢、責任感の強さ	0.5	－
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	－
		主任担当者の能力（担当分野に関する評価）	他分野との調整	0.5	－
			工程管理	0.5	－
			取組み姿勢、責任感の強さ	0.5	－
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	－
	業務の実施状況	業務履行中の説明資料に関する評価	記載の程度	2	－
			説明資料の内容	2	－
		調整及び説明、対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	1	－
			指示、協議事項への対応	1	－
		与条件の理解、業務への反映	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	2	－
			仕様書、基準類の理解	2	－
	業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	4	4
			成果物の内容	4	4
			資料等の整理、指示、協議事項への対応	－	4
小計				23	12
合計				35	

創意工夫項目	業務の実施状況	調整及び説明、対応の迅速性	提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	－
		提案力、業務執行技術力	創意工夫、積極的な提案	1.5	－
			専門的な知識、法令等の理解、関係機関等との調整	1.5	－
	業務目的の達成度	課題への対応	提案力、改善力	4	4
小計				8	4
合計				12	

（評定点の種別）

第３　評定点の種別は、業務評定点（総合点及び基礎点）及び管理技術者評定点とし、各評定点の内容は以下による。ただし、創意工夫の余地の小さい業務については、創意工夫項目の採点を行わないものとし、総合点と基礎点は同一の点数になる。

①　総合点：基礎項目及び創意工夫項目の採点結果から求められる評定点（「瑕疵修補又は損害賠償等による減点」が行われた場合は、当該点数を減ずる。）

②　基礎点：基礎項目の採点結果から求められる評定点

③　管理技術者評定点：管理技術者に係る評価項目に対する採点結果から求められる評定点

ここに、対象業務に関する創意工夫の余地の大小の判断基準は次による。

（創意工夫の余地の判断基準）

創意工夫の余地の大きい業務は、次のいずれかを満たす業務とし、創意工夫の余地の小さい業務は、当該業務以外の業務とする。

イ　一級建築士でなければできない設計、もしくは一級建築士又は二級建築士でなけ

ればできない設計（設計の一部のみを発注する場合を除く）

ロ　企画競争（プロポーザル）方式又は総合評価方式（標準型）にて特定された業務

ハ　上記イ又はロ以外の業務のうち、業務の内容が高度な知識又は高度な構想力もしくは応用力を必要とする業務

（検査職員及び調査職員の採点）

第４　検査職員及び調査職員の採点は、次によるものとする。

①　検査職員は、採点表の③検査職員用（各分野）により採点を行う。

②　総括調査員は、採点表の①総括調査員用により採点を行う。

③　主任調査員又は調査員（各分野）は、採点表の②－２主任調査員又は調査員用（各分野）により採点を行う。

（評定点の算出）

第５　評定点の算出は、採点を行った検査職員又は調査職員（以下「採点者」という。）の採点結果に基づき、次の方法により行うものとする。

①　業務内容に応じて、次の考え方により、各採点者の配点比率を設定する。

（配点比率を設定する際の考え方）

まず、各分野の調査職員の加減点数の配点比率を、合計が１．０になるように業務内容に応じて適切に設定する。次に、総括調査員の配点比率を、総括調査員の配点が他の調査職員のいずれの配点も下回らないような最小の比率で設定する。なお、総括調査員の配点比率は、小数点以下第３位を四捨五入した数値とする。各分野の検査職員の配点比率については、調査職員のそれと同じとする。（表－２参照）

②　各採点者の項目毎の配点は、表－１の評価項目毎の配点に上記①で設定した配点比率を乗じて算出する。

③　各採点者の採点結果は、採点の対象項目の配点に得点率を乗じた値を合計して算出する。

④　基礎点：基礎項目に対する採点者全員の採点結果の合計値を、６５点（標準点）に加算して算出する。ただし、積算業務や診断業務を単独で発注する場合には、当該合計値を３５点満点に換算した値を、６５点（標準点）に加算して算出する。

⑤　総合点：創意工夫項目及び基礎項目に対する採点者全員の採点結果の合計値を３５点満点に換算した値を、６５点（標準点）に加算して算出する。

⑥　管理技術者の評定点：管理技術者に係る評価項目に対する採点者全員の採点結果の合計値を３５点満点に換算した値を、６５点（標準点）に加算して算出する。

⑦　基礎点、総合点、管理技術者の評定点は、小数点以下四捨五入した整数とする。

【参考：評定点の算出式】

$$（評定点）＝\left\{（対象項目に対する採点結果の合計値）\times\frac{３５点}{対象項目に対する配点の合計（満点）}\right\}＋６５点（標準点）$$

表－２　発注方法による配点比率例

①　建築設計業務、設計意図を請負者等に正確に伝えるために行う業務並びに建築又は建築設備に関する診断業務

※延べ面積3,000㎡の庁舎の例

業務内容		総括調査員	総括調査員以外の調査職員（検査職員）						
			建築			電気		機械	
			総合	構造	積算	電気	積算	機械	積算
創意工夫の余地の大きい業務（新築）	設計業務（設計・積算込）〈全分野〉	0.40	0.60						
		－	0.420	0.120	0.060	0.180	0.020	0.180	0.020
	〃　〈構造分野除く〉	0.40	0.60						
		－	0.470	－	0.070	0.205	0.025	0.205	0.025
	〃　〈建築分野のみ〉	0.50	0.50						
		－	0.700	0.200	0.100	－	－	－	－
	〃　〈総合分野のみ〉	0.60	0.40						
		－	0.875	－	0.125	－	－	－	－
	〃　〈設備分野のみ〉	0.40	0.60						
		－	－	－	－	0.450	0.050	0.450	0.050
	設計業務（設計のみ）〈建築・設備分野〉	0.40	0.60						
		－	0.465	0.135	－	0.200	－	0.200	－
	〃　〈構造分野除く〉	0.45	0.55						
		－	0.540	－	－	0.230	－	0.230	－
	〃　〈建築分野のみ〉	0.55	0.45						
		－	0.780	0.220	－	－	－	－	－
積算業務（単独発注）〈建築分野のみ〉		0.60	0.40						
		－	－	－	1.000	－	－	－	－
設備改修工事の設計業務の例（創意工夫の余地の大きい業務）		0.30	0.70						
		－	0.305	－	0.045	0.295	0.030	0.295	0.030

② ①以外の建設コンサルタント業務（建築工事監理業務を除く）

業務内容		総括調査職員	総括調査職員以外の調査職員（検査職員）		
			分野①	分野②	分野③
創意工夫の余地の大きい業務	記載を求める主任担当者の担当分野〈１分野〉	0.60	0.40		
		－	1.00	－	－
	記載を求める主任担当者の担当分野〈２分野〉	0.45	0.55		
		－	0.500	0.500	－
	記載を求める主任担当者の担当分野〈３分野〉	0.35	0.65		
		－	0.400	0.300	0.300
創意工夫の余地の小さい業務	記載を求める主任担当者の担当分野〈１分野〉	0.60	0.40		
		－	1.00	－	－
	記載を求める主任担当者の担当分野〈２分野〉	0.40	0.60		
		－	0.500	0.500	－
	記載を求める主任担当者の担当分野〈３分野〉	0.30	0.70		
		－	0.400	0.300	0.300

（業務履行中又は完了時に生じた事由による減点）

第６　対象業務の履行中に受注者に起因する事故等が発生し、当該業務に関し指名停止等の措置がとられた場合は、当該業務の総合点に対して、表－３により１５点まで減点することができる。

また、業務の完了の通知があった時点で、プロポーザル方式又は総合評価落札方式における技術提案の内容のうち契約図書に反映された技術提案の内容が、受注者の責めにより実施されていない場合は、当該業務の総合点に対して、３点を減点するものとする。この場合において、第７に該当するときはこの減点のほかに第７を適用することができる。

表－３　指名停止等の措置がとられた場合等の減点基準

区　分	文書注意	指名停止 １ヶ月まで	指名停止が １ヶ月を超える
減　点　数	５点	１０点	１５点

（業務完了後に生じた事由による減点）

第７　対象業務の成果品に、当該業務の受注者に起因する重大な誤謬・欠陥が存在し、契約書の契約不適合責任に係る条項等に記された手続きに従い、履行の追完、代金の減額又は損害賠償が実施された場合は、当該業務の総合点に対して、表－４により２０点まで遡って減点することができる。

表－４　履行の追完、代金の減額又は損害賠償が実施された場合等の減点基準

区　分	履行の追完、代金の減額又は損害賠償の実施	故意又は重過失により、履行の追完、代金の減額又は損害賠償の実施
減　　点	１０点	２０点

（評定の修正）

第８　地方整備局等建築設計等委託業務成績評定要領の第８に定める評定を修正する必要があると認められる場合とは、次の場合とする。

①　第７の減点を行った場合

②　工事施工中又は工事完成後に生じた事由などにより、建築設計等委託業務成績評定評価委員会の審議を経て局長又は事務所長が評定の修正を行う必要があると判断した場合

附則

この運用は、平成19年４月１日から適用する。

附則（平成22年３月12日　国営整第208号）

１．この運用は、平成22年４月１日から適用する。

２．評定対象が地方整備局等建築設計等委託業務成績評定要領（平成14年６月28日 国営建第49号）の第２四号に規定する業務の場合には、本運用中の「管理技術者」を「管理担当者」と読み替え、「主任担当技術者」を「主任担当者」と読み替えるものとする。

附則（平成23年７月29日　国営整第73号）

この運用は、平成23年8月1日から適用する。

附則（平成 24 年 7 月 24 日　国営整第 70 号）

この運用は、平成 24 年 8 月 1 日から適用する。

附則（令和 2 年 7 月 13 日　国営整第 54 号）

この運用は、令和 2 年 7 月 13 日から適用する。

採点表

※ 建築設計業務、設計意図を請負者等に正確に伝えるために行う業務並びに建築又は建築設備に関する診断業務の場合に適用する

業　務　情　報

発 注 者	(					)
業 務 名 称	(					)
発 注 方 式	(					)
業 務 分 類	(1) ※創意工夫の余地が大きい業務は1、小さい業務は2を入力する。					
調査員比率	総　括	(0.30)	その他調査員	(0.70)		
各分野比率	総　合	(0.300)	構　造	(0.150)	建築積算	(0.100)
(0か数字を記入)	電　気	(0.150)	電気積算	(0.075)		
	機　械	(0.150)	機械積算	(0.075)		
受 注 者	(					)
協力事務所	(					)

業務評定点

基礎点	(65.0)
総合点(減点無し)	(65.0)

管理技術者評定点

管理技術者	(65.0)

業務評定点(総合点:減点無し)の分野別内訳

総　合	(65.0)
構　造	(65.0)
建築積算	(65.0)
電　気	(65.0)
電気積算	(65.0)
機　械	(65.0)
機械積算	(65.0)

評　定　点(オプション)　※任意使用

総合点		オプション点		評定点(オプション)
(65.0)	＋	( )	＝	(65.0)

参考

業務評定点（総合点）の内訳

業務名		
受注者名		
業務評定点（総合点：減点無し）	65	点
業務履行中及び完了時に生じた事由による減点		点
業務完了後に生じた事由による減点		点

業務評定点（総合点：減点無し）の加減点数の評価項目別内訳

評価項目		評価の視点	項目の分類	指標	得点		配点
業務の実施能力	業務実施体制	業務態勢、自主管理	基礎	0	0.00	／	1.00
	管理技術者の能力	業務の全体把握、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力（プレゼンテーション力）、協調性	基礎	0	0.00	／	2.00
	主任担当技術者の能力	他分野との調整、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力（プレゼンテーション力）、協調性）	基礎	0	0.00	／	2.00
業務の実施状況	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価	記載の程度、途中成果物の内容	基礎	0	0.00	／	4.00
	調整及び説明、対応の迅速性	基礎：打合せ内容の理解、記録、指示・協議事項への対応 創意工夫：設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	基礎	0	0.00	／	2.00
			創意工夫	0	0.00	／	1.00
	与条件の理解、業務への反映（設計提案）	基礎：与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討、仕様書・基準類の理解、施工に関する一般的な知識 創意工夫：創意工夫、積極的な提案、専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	基礎	0	0.00	／	4.00
			創意工夫	0	0.00	／	3.00
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度、成果物の内容	基礎	0	0.00	／	20.00
	課題への対応	課題（物理的条件、社会的条件、要望、コスト）への対応	創意工夫	0	0.00	／	8.00
			小計（基礎項目）		0.00	／	35.00
			小計（創意工夫項目）		0.00	／	12.00
			合計		0.00	／	35.00

（表の見方）
１）評定点は６５点を標準として加減点最大±３５点で算出している。
２）加減点数の項目別の配点は、業務内容によって異なる。
３）本業務の受託者が得点した点数を項目別に指標化している。
４）指標は０を標準（加減点なし）とし、－１００から＋１００までの整数で表示している。
５）「創意工夫の余地の小さい業務」については、創意工夫項目の評価を行わない。

採点表　　採点結果（加減点分のみ）

	評価項目	配点	評価の視点	配点	創意工夫の余地 業務大きい	創意工夫の余地 業務小さい	総括調査員 ①	主任調査員または調査員 各分野 建築 総合 ②-1	建築 構造 ②-2	建築 積算 ②-3	電気 電気 ②-4	電気 積算 ②-5	機械 機械 ②-6	機械 積算 ②-7		加減点数の評価項目別内訳
	総括調査員評定点、主任調査員と各分野評定点の合計の比率						0.3	0.7								
	各分野比率						—	0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075		
体制評価	業務の実施能力	業務実施体制 1	実施体制、自主管理	1	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務）	管理技術者の能力 2	業務の全体把握	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5 ／5	（業務全体に関する評価）	工程管理	0.5	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
	（創意工夫の余地の小さい業務）		取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
	5 ／5		説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
							0	0	0	0	0	0	0	0	65.0	←管理技術者評点
		主任担当技術者の能力 2	他分野との調整	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		（担当分野に関する評価）	工程管理	0.5	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
			取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
プロセス評価	業務の実施状況	業務履行中の説明資料 4	記載の程度	2	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務）	（途中成果物）に関する評価	途中成果物の内容	2	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
	14 ／14	調整及び説明、対応の迅速性 3	打合せ内容の理解、記録	1	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の小さい業務）		指示、協議事項への対応	1	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
	10 ／10		設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	●		—	0	0	—	0	—	0	—	0	0
		与条件の理解、業務への反映（設計提案） 7	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	1.5	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			仕様書、基準類の理解	1.5	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
			施工に関する一般的な知識	1	●	●		0	0	0	0	0	0	0	0	
			創意工夫、積極的な提案	1.5	●		—	0	0	—	0	—	0	—	0	0
			専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	1.5	●		—	0	0	—	0	—	0	—	0	
結果評価	業務目的の達成度	業務目的の達成度 8	記載の程度	4	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	0	0	0	—	0	—	0	—	0	
	12 ／28	課題への対応 4	物理的条件、社会的条件	2	●		0	0	0	—	0	—	0	—	0	0
	（創意工夫の余地の小さい業務）		要望、コスト	2	●			0	0	—	0	—	0	—	0	
	8 ／20															
	調査職員評定点の計算	各分野得点		①			0	0	0	0	0	0	0	0		
		各分野配点		②			8.1	7.83	3.915	1.33	3.915	0.9975	3.915	0.9975		
		総括調査員評定点、総合評定点、各分野評定点（６５＋３５×①÷②）		③			65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0		
		調査職員得点（Σ①）		④			0									
		調査職員配点（Σ②） 31	（創意工夫の余地の大きい業務）	⑤			31									
		調査職員配点（Σ②） 23	（創意工夫の余地の小さい業務）													
		調査職員評定点（６５＋３５×④÷⑤）		⑥			65.0									

	評価項目	配点	評価の視点	配点			検査職員 各分野 建築 総合 ③-1	建築 構造 ③-2	建築 積算 ③-3	電気 電気 ③-4	電気 積算 ③-5	機械 機械 ③-6	機械 積算 ③-7		
	各分野比率						0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075		
結果評価	業務目的の達成度	業務目的の達成度 12	記載の程度	4	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	0	0	—	0	—	0	—	0	0
	16 ／28		資料等の整理、指示、協議事項への対応	4	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	
	（創意工夫の余地の小さい業務）	課題への対応 4	物理的条件、社会的条件	2	●		0	0	—	0	—	0	—	0	0
	12 ／20		要望、コスト	2	●		0	0	—	0	—	0	—	0	
	検査職員評定点の計算	各分野得点		⑦			0	0	0	0	0	0	0		
		各分野配点		⑧			5.6	2.8	0.8	2.8	0.6	2.8	0.6		
		各分野評定点（６５＋３５×⑦÷⑧）		⑨			65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0		
		検査職員得点（Σ⑦）		⑩			0								
		検査職員配点（Σ⑧） 16	（創意工夫の余地の大きい業務）	⑪			16								
		検査職員配点（Σ⑧） 12	（創意工夫の余地の小さい業務）												
		検査職員評定点（６５＋３５×⑩÷⑪）		⑫			65.0								

採点表　　配点（加減点分のみ）

	評価項目	配点	評価の視点	配点	創意工夫の余地 業務大きい	創意工夫の余地 業務小さい	総括調査員 ①	主任調査員または調査員 各分野 建築 総合 ②-1	建築 構造 ②-2	建築 積算 ②-3	電気 電気 ②-4	電気 積算 ②-5	機械 機械 ②-6	機械 積算 ②-7		加減点数の評価項目別内訳
	総括調査員評定点、主任調査員と各分野評定点の合計の比率						0.3	0.7								
	各分野比率						—	0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075		
体制評価	業務の実施能力	業務実施体制 1	実施体制、自主管理	1	●	●	0.3	0.21	0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525	1	1
	（創意工夫の余地の大きい業務）	管理技術者の能力 2	業務の全体把握	0.5	●	●	0.6	0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	2
	5 ／5	（業務全体に関する評価）	工程管理	0.5	●	●		0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	
	（創意工夫の余地の小さい業務）		取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●		0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	
	5 ／5		説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●		0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	
							0.6	0.42	0.21	0.14	0.21	0.105	0.21	0.105	2	←管理技術者配点
		主任担当技術者の能力 2	他分野との調整	0.5	●	●	0.6	0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	2
		（担当分野に関する評価）	工程管理	0.5	●	●		0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	
			取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●		0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●		0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	0.5	
プロセス評価	業務の実施状況	業務履行中の説明資料 4	記載の程度	2	●	●	1.2	0.42	0.21	0.14	0.21	0.105	0.21	0.105	2	4
	（創意工夫の余地の大きい業務）	（途中成果物）に関する評価	途中成果物の内容	2	●	●		0.42	0.21	0.14	0.21	0.105	0.21	0.105	2	
	14 ／14	調整及び説明、対応の迅速性 3	打合せ内容の理解、記録	1	●	●	0.6	0.21	0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525	1	2
	（創意工夫の余地の小さい業務）		指示、協議事項への対応	1	●	●		0.21	0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525	1	
	10 ／10		設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	●		—	0.4	0.2	—	0.2	—	0.2	—	1	1
		与条件の理解、業務への反映（設計提案） 7	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	1.5	●	●	1.2	0.315	0.1575	0.105	0.1575	0.07875	0.1575	0.07875	1.5	4
			仕様書、基準類の理解	1.5	●	●		0.315	0.1575	0.105	0.1575	0.07875	0.1575	0.07875	1.5	
			施工に関する一般的な知識	1	●	●		0.21	0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525	1	
			創意工夫、積極的な提案	1.5	●		—	0.6	0.3	—	0.3	—	0.3	—	1.5	3
			専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	1.5	●		—	0.6	0.3	—	0.3	—	0.3	—	1.5	
結果評価	業務目的の達成度	業務目的の達成度 8	記載の程度	4	●	●	1.2	0.84	0.42	0.28	0.42	0.21	0.42	0.21	4	8
	（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	1.2	1.12	0.56	—	0.56	—	0.56	—	4	
	12 ／28	課題への対応 4	物理的条件、社会的条件	2	●		1.2	0.56	0.28	—	0.28	—	0.28	—	2	4
	（創意工夫の余地の小さい業務）		要望、コスト	2	●			0.56	0.28	—	0.28	—	0.28	—	2	
	8 ／20															
	調査職員評定点の計算	各分野得点		①												
		各分野配点		②			8.1	7.83	3.915	1.33	3.915	0.9975	3.915	0.9975		
		総括調査員評定点、総合評定点、各分野評定点（６５＋３５×①÷②）		③												
		調査職員得点（Σ①）		④												
		調査職員配点（Σ②） 31 23	（創意工夫の余地の大きい業務）（創意工夫の余地の小さい業務）	⑤			31									
		調査職員評定点（６５＋３５×④÷⑤）		⑥												

	評価項目	配点	評価の視点	配点			検査職員 各分野 建築 総合 ③-1	建築 構造 ③-2	建築 積算 ③-3	電気 電気 ③-4	電気 積算 ③-5	機械 機械 ③-6	機械 積算 ③-7		
	各分野比率						0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075		
結果評価	業務目的の達成度	業務目的の達成度 12	記載の程度	4	●	●	1.2	0.6	0.4	0.6	0.3	0.6	0.3	4	12
	（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	1.6	0.8	—	0.8	—	0.8	—	4	
	16 ／28		資料等の整理、指示、協議事項への対応	4	●	●	1.2	0.6	0.4	0.6	0.3	0.6	0.3	4	
	（創意工夫の余地の小さい業務）	課題への対応 4	物理的条件、社会的条件	2	●		0.8	0.4	—	0.4	—	0.4	—	2	4
	12 ／20		要望、コスト	2	●		0.8	0.4	—	0.4	—	0.4	—	2	
	検査職員評定点の計算	各分野得点		⑦											
		各分野配点		⑧			5.6	2.8	0.8	2.8	0.6	2.8	0.6		
		各分野評定点（６５＋３５×⑦÷⑧）		⑨											
		検査職員得点（Σ⑦）		⑩											
		検査職員配点（Σ⑧） 16 12	（創意工夫の余地の大きい業務）（創意工夫の余地の小さい業務）	⑪			16								
		検査職員評定点（６５＋３５×⑩÷⑪）		⑫											

採点表 ①総括調査員用

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。（■が加点、□が減点）

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 契約図書に基づき、実施体制を含む業務計画書等が期限までに提出された □ 提出された実施体制は、業務を適切に遂行できるような構成及び人員配置となっていた ■ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者（管理技術者、担当者以外）によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力	管理技術者としての責務	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.75) =2⇒『やや劣』(得点率−0.5) =3⇒『やや劣』(得点率−0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を把握していた □ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を踏まえ、適時に適切な業務実施の方針を提示した ■ 業務全体について、必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った ■ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ業務を統轄した □ 打合せ時などで自ら発言・提案を行い、積極的に配下の担当者を統率するなど、積極的に業務を統轄した ■ 発注者に業務上必要な説明を行った □ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた
	主任担当技術者の能力	主任担当技術者の役割	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.75) =2⇒『やや劣』(得点率−0.5) =3⇒『やや劣』(得点率−0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 担当分野に関して、他の分野との調整が適切に行われ、十分な成果が得られた ■ 担当分野について、必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った ■ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ担当業務を行った □ 打合せ等などで自ら発言・提案を行うなどして、積極的に業務を行った ■ 発注者に業務上必要な説明を行った □ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた
	小計		1.5	0 ／ ±100					0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 途中成果物は、理解しうる表現で最低限の記載（書き込み）があった □ 途中成果物には十分な記載（書き込み）があり、理解しやすいように表現が工夫されていた ■ 工程に影響を及ぼすような重大なミス（手戻り、差替え）は無く、業務目的に沿った内容であった □ ミスはほとんど無く、発注者の意図が十分反映された内容となっていた
	調整及び説明対応の迅速性	調整及び説明対応の迅速性	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応がなされた □ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応が迅速に行われた ■ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に沿ったものであった □ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に十分応えるものであった
	与条件の理解 業務への反映 （設計提案）	与条件の理解 業務への反映 （設計提案）	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 与条件や必要な項目についての検討がなされた □ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった ■ 業務を行う上で必要となる基準や法令類や施工方法等に関する知識を有していた □ 上記の知識が、設計内容に十分反映されていた
	小計		3	0 ／ ±100					0	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 成果物には最低限の記載（書き込み）があった □ 成果物には十分な記載（書き込み）があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ■ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた □ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
	課題への対応	物理的条件 社会的条件 要望 コスト								□ ※評価しない
			1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 設計与条件、要望等に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた □ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
	小計		3.6	0 ／ ±100					0	
合計			8.1	0 ／ ±100					0	
評定点				0 ／ 8.1 × 35 ＋ 65 ＝					65	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ②-1主任調査員又は調査員用（各分野）〔建築〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。（■が加点、□が減点）

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率-1） =1⇒『やや劣』（得点率-0.5） =2⇒『普通』（得点率±0） =3⇒『やや優』（得点率0.5） =4⇒『優』（得点率1）							評価細目
				総合	構造	積算	総合	構造	積算	
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	配点	0.21	0.105	0.07	■	■	■	業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた
			得点率	0	0	0	□	□	□	配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた
			得点	0	0	0	■	■	■	業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた
							□	□	□	第三者（管理技術者、担当者以外）によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 （業務全体に関する評価）	業務の全体把握	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	業務の目的及び内容を把握していた
			得点率	0	0	0	□	□	□	業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した
			得点	0	0	0	■	■	■	業務の実施状況を把握していた
							□	□	□	業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
			得点率	0	0	0	□	□	□	当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった
			得点	0	0	0	■	■	■	必要な工程管理を行った
							□	□	□	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	打合せ等に参加した
			得点率	0	0	0	□	□	□	打合せ時の発言や提案が積極的になされた
			得点	0	0	0	■	■	■	業務を統轄した
							□	□	□	強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 （プレゼンテーション力） 協調性	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	業務の実施方針等に対する説明がなされた
			得点率	0	0	0	□	□	□	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった
			得点	0	0	0	■	■	■	発注者の意図を理解する姿勢が見られた
							□	□	□	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 （担当分野に関する評価）	他分野との調整	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	担当分野に関して、他の分野との調整を図った
			得点率	0	0	0	□	□	□	他の分野との調整はすみやかに行われた
			得点	0	0	0	■	■	■	他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた
							□	□	□	他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	当初提出された業務工程表（分野別）には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
			得点率	0	0	0	□	□	□	当初提出された業務工程表（分野別）の計画内容には妥当性があった
			得点	0	0	0	■	■	■	担当分野について必要な工程管理を行った
							□	□	□	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	打合せ等に参加した
			得点率	0	0	0	□	□	□	打合せ等において、発言や提案が積極的になされた
			得点	0	0	0	■	■	■	担当分野の成果物の取りまとめを行った
							□	□	□	成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 （プレゼンテーション力） 協調性	配点	0.105	0.0525	0.035	■	■	■	分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた
			得点率	0	0	0	□	□	□	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった
			得点	0	0	0	■	■	■	発注者の意図を理解する姿勢が見られた
							□	□	□	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
				総合	構造	積算	総合	構造	積算	
	小　計		配点	1.05	0.525	0.35				
			得点	0	0	0				
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 （途中成果物）に関する評価	記載の程度	配点	0.42	0.21	0.14	■	■	■	途中成果物には審査できる最低限の記載（書き込み）があった
			得点率	0	0	0	□	□	□	途中成果物には十分な記載（書き込み）があった
			得点	0	0	0	■	■	■	途中成果物の内容が理解しうる表現であった
							□	□	□	途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	配点	0.42	0.21	0.14	■	■	■	工程に影響を及ぼすような重大なミス（手戻り、差替え）は無かった
			得点率	0	0	0	□	□	□	ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった
			得点	0	0	0	■	■	■	途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった
							□	□	□	途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	配点	0.21	0.105	0.07	■	■	■	打合せごとに打合せ記録簿が作成された
			得点率	0	0	0	□	□	□	打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された
			得点	0	0	0	■	■	■	打合せ後に対応（追加資料送付、進行状況連絡等）が図られた
							□	□	□	打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	配点	0.21	0.105	0.07	■	■	■	発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた
			得点率	0	0	0	□	□	□	発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた
			得点	0	0	0	■	■	■	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった
							□	□	□	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
				総合	構造	積算	総合	構造	積算	

採点表 ②-1主任調査員又は調査員用（各分野）〔建築〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。（■が加点、□が減点）

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率-1） =1⇒『やや劣』（得点率-0.5） =2⇒『普通』（得点率±0） =3⇒『やや優』（得点率0.5） =4⇒『優』（得点率1）					構造	積算	評価細目
				総合	構造	積算		構造	積算	
業務の実施状況	調整及び説明 対応の迅速性	設計提案等の説明 （プレゼンテーション）								□ ※評価しない
			配点	0.4	0.2	-	■	■		説明資料が準備されていた
			得点率	0	0	-	□	□		説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった
			得点	0	0	-	■	■		提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった
							□	□		提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった
	与条件の理解 業務への反映 （設計提案）	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	配点	0.315	0.1575	0.105	■	■	■	当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
			得点率	0	0	0	□	□	□	与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
			得点	0	0	0	■	■	■	業務の各段階で必要な検討がなされていた
							□	□	□	検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解	配点	0.315	0.1575	0.105	■	■	■	工事標準仕様書や各種基準、基本法令等（以下、「標準仕様書等」という。）を概ね理解していた
			得点率	0	0	0	□	□	□	発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた
			得点	0	0	0	■	■	■	実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた
							□	□	□	実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識	配点	0.21	0.105	0.07	■	■	■	施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた
			得点率	0	0	0	□	□	□	施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた
			得点	0	0	0	■	■	■	材料、機器等に関する一般的な知識を有していた
							□	□	□	材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
		創意工夫 積極的な提案							□	※評価しない
			配点	0.6	0.3	-	■	■		発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った
			得点率	0	0	-	□	□		成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた
			得点	0	0	-	■	■		業務の目的、内容に沿った提案がなされた
							□	□		提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 特定行政庁等との調整							□	※評価しない
			配点	0.6	0.3	-	■	■		設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた
			得点率	0	0	-	□	□		設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた
			得点	0	0	-	■	■		特定行政庁等の関係者との調整を行った
							□	□		特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
				総合	構造	積算	総合	構造	積算	
	小　計		配点	3.7	1.85	0.7				
			得点	0	0	0				
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	配点	0.84	0.42	0.28	■	■	■	成果物には審査できる最低限の記載（書き込み）があった
			得点率	0	0	0	□	□	□	成果物には十分な記載（書き込み）があった
			得点	0	0	0	■	■	■	成果物の内容が理解しうる表現であった
							□	□	□	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	配点	1.12	0.56	-	■	■		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
			得点率	0	0	-	□	□		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
			得点	0	0	-	■	■		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
							□	□		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
	課題への対応								□	※評価しない
		物理的条件 社会的条件	配点	0.56	0.28	-	■	■		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0	0	-	□	□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0	0	-	■	■		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
							□	□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト	配点	0.56	0.28	-	■	■		利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0	0	-	□	□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0	0	-	■	■		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた
							□	□		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
				総合	構造	積算	総合	構造	積算	
	小　計		配点	3.08	1.54	0.28				
			得点	0	0	0				
合　計			配点	7.83	3.915	1.33				
			得点	0	0	0				
評　定　点				65.0	65.0	65.0				

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					評価細目
				電気	積算	電気	積算	
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	配点	0.105	0.0525	■	■	業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた
			得点率	0	0	□	□	配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた
			得点	0	0	■	■	業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた
						□	□	第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	配点	0.0525	0.02625	■	■	業務の目的及び内容を把握していた
			得点率	0	0	□	□	業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した
			得点	0	0	■	■	業務の実施状況を把握していた
						□	□	業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	配点	0.0525	0.02625	■	■	当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
			得点率	0	0	□	□	当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった
			得点	0	0	■	■	必要な工程管理を行った
						□	□	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	配点	0.0525	0.02625	■	■	打合せ等に参加した
			得点率	0	0	□	□	打合せ時の発言や提案が積極的になされた
			得点	0	0	■	■	業務を統轄した
						□	□	強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	配点	0.0525	0.02625	■	■	業務の実施方針等に対する説明がなされた
			得点率	0	0	□	□	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった
			得点	0	0	■	■	発注者の意図を理解する姿勢が見られた
						□	□	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整	配点	0.0525	0.02625	■	■	担当分野に関して、他の分野との調整を図った
			得点率	0	0	□	□	他の分野との調整はすみやかに行われた
			得点	0	0	■	■	他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた
						□	□	他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理	配点	0.0525	0.02625	■	■	当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
			得点率	0	0	□	□	当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった
			得点	0	0	■	■	担当分野について必要な工程管理を行った
						□	□	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	配点	0.0525	0.02625	■	■	打合せ等に参加した
			得点率	0	0	□	□	打合せ等において、発言や提案が積極的になされた
			得点	0	0	■	■	担当分野の成果物の取りまとめを行った
						□	□	成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	配点	0.0525	0.02625	■	■	分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた
			得点率	0	0	□	□	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった
			得点	0	0	■	■	発注者の意図を理解する姿勢が見られた
						□	□	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
				電気	積算	電気	積算	
	小　計		配点	0.525	0.2625			
			得点	0	0			
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	記載の程度	配点	0.21	0.105	■	■	途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
			得点率	0	0	□	□	途中成果物には十分な記載(書き込み)があった
			得点	0	0	■	■	途中成果物の内容が理解しうる表現であった
						□	□	途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	配点	0.21	0.105	■	■	工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった
			得点率	0	0	□	□	ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった
			得点	0	0	■	■	途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった
						□	□	途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	配点	0.105	0.0525	■	■	打合せごとに打合せ記録簿が作成された
			得点率	0	0	□	□	打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された
			得点	0	0	■	■	打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた
						□	□	打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	配点	0.105	0.0525	■	■	発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた
			得点率	0	0	□	□	発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた
			得点	0	0	■	■	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった
						□	□	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
				電気	積算	電気	積算	

採点表 ②-2主任調査員又は調査員用(各分野)〔電気〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					評価細目
				電気	積算	電気	積算	
業務の実施状況	調整及び説明 対応の迅速性	設計提案等の説明 (プレゼンテーション)				□		※評価しない
			配点	0.2		■		説明資料が準備されていた
			得点率	0		□		説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった
			得点	0		■		提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった
						□		提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった
	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	配点	0.1575	0.07875	■	■	当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
			得点率	0	0	□	□	与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
			得点	0	0	■	■	業務の各段階で必要な検討がなされていた
						□	□	検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解	配点	0.1575	0.07875	■	■	工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた
			得点率	0	0	□	□	発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた
			得点	0	0	■	■	実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた
						□	□	実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識	配点	0.105	0.0525	■	■	施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた
			得点率	0	0	□	□	施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた
			得点	0	0	■	■	材料、機器等に関する一般的な知識を有していた
						□	□	材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
		創意工夫 積極的な提案				□		※評価しない
			配点	0.3		■		発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った
			得点率	0		□		成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた
			得点	0		■		業務の目的、内容に沿った提案がなされた
						□		提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 特定行政庁等との調整				□		※評価しない
			配点	0.3		■		設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた
			得点率	0		□		設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた
			得点	0		■		特定行政庁等の関係者との調整を行った
						□		特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
				電気	積算	電気	積算	
	小　計		配点	1.85	0.525			
			得点	0	0			
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	配点	0.42	0.21	■	■	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
			得点率	0	0	□	□	成果物には十分な記載(書き込み)があった
			得点	0	0	■	■	成果物の内容が理解しうる表現であった
						□	□	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	配点	0.56		■		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
			得点率	0		□		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
			得点	0		■		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
						□		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
	課題への対応					□		※評価しない
		物理的条件 社会的条件	配点	0.28		■		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
						□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト	配点	0.28		■		利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた
						□		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
				電気	積算	電気	積算	
	小　計		配点	1.54	0.21			
			得点	0	0			
合　計			配点	3.915	0.9975			
			得点	0	0			
評 定 点				65.0	65.0			

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)		機械	積算	機械	積算	評価細目
業務実施能力					機械	積算	機械	積算	
	業務実施体制	実施体制 自主管理		配点	0.105	0.0525	■	■	業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた
				得点率	0	0	□	□	配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた
				得点	0	0	■	■	業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた
							□	□	第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握		配点	0.0525	0.02625	■	■	業務の目的及び内容を把握していた
				得点率	0	0	□	□	業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した
				得点	0	0	■	■	業務の実施状況を把握していた
							□	□	業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		配点	0.0525	0.02625	■	■	当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
				得点率	0	0	□	□	当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった
				得点	0	0	■	■	必要な工程管理を行った
							□	□	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		配点	0.0525	0.02625	■	■	打合せ等に参加した
				得点率	0	0	□	□	打合せ時の発言や提案が積極的になされた
				得点	0	0	■	■	業務を統轄した
							□	□	強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		配点	0.0525	0.02625	■	■	業務の実施方針等に対する説明がなされた
				得点率	0	0	□	□	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった
				得点	0	0	■	■	発注者の意図を理解する姿勢が見られた
							□	□	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整		配点	0.0525	0.02625	■	■	担当分野に関して、他の分野との調整を図った
				得点率	0	0	□	□	他の分野との調整はすみやかに行われた
				得点	0	0	■	■	他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた
							□	□	他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		配点	0.0525	0.02625	■	■	当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
				得点率	0	0	□	□	当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった
				得点	0	0	■	■	担当分野について必要な工程管理を行った
							□	□	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		配点	0.0525	0.02625	■	■	打合せ等に参加した
				得点率	0	0	□	□	打合せ等において、発言や提案が積極的になされた
				得点	0	0	■	■	担当分野の成果物の取りまとめを行った
							□	□	成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		配点	0.0525	0.02625	■	■	分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた
				得点率	0	0	□	□	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった
				得点	0	0	■	■	発注者の意図を理解する姿勢が見られた
							□	□	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
					機械	積算	機械	積算	
	小　計			配点	0.525	0.2625			
				得点	0	0			
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	記載の程度		配点	0.21	0.105	■	■	途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
				得点率	0	0	□	□	途中成果物には十分な記載(書き込み)があった
				得点	0	0	■	■	途中成果物の内容が理解しうる表現であった
							□	□	途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		配点	0.21	0.105	■	■	工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった
				得点率	0	0	□	□	ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった
				得点	0	0	■	■	途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった
							□	□	途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		配点	0.105	0.0525	■	■	打合せごとに打合せ記録簿が作成された
				得点率	0	0	□	□	打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された
				得点	0	0	■	■	打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた
							□	□	打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		配点	0.105	0.0525	■	■	発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた
				得点率	0	0	□	□	発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた
				得点	0	0	■	■	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった
							□	□	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
					機械	積算	機械	積算	

採点表 ②-3主任調査員又は調査員用(各分野)〔機械〕

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)			機械	積算	評価細目
業務の実施状況				機械	積算	機械	積算	
	調整及び説明 対応の迅速性	設計提案等の説明 (プレゼンテーション)				□		※評価しない
			配点	0.2		■		説明資料が準備されていた
			得点率	0		□		説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった
			得点	0		■		提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった
						□		提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった
	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	配点	0.1575	0.07875	■	■	当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
			得点率	0	0	□	□	与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
			得点	0	0	■	■	業務の各段階で必要な検討がなされていた
						□	□	検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解	配点	0.1575	0.07875	■	■	工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた
			得点率	0	0	□	□	発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた
			得点	0	0	■	■	実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた
						□	□	実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識	配点	0.105	0.0525	■	■	施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた
			得点率	0	0	□	□	施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた
			得点	0	0	■	■	材料、機器等に関する一般的な知識を有していた
						□	□	材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
		創意工夫 積極的な提案				□		※評価しない
			配点	0.3		■		発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った
			得点率	0		□		成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた
			得点	0		■		業務の目的、内容に沿った提案がなされた
						□		提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 特定行政庁等との調整				□		※評価しない
			配点	0.3		■		設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた
			得点率	0		□		設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた
			得点	0		■		特定行政庁等の関係者との調整を行った
						□		特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
				機械	積算	機械	積算	
	小　計		配点	1.85	0.525			
			得点	0	0			
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	配点	0.42	0.21	■	■	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
			得点率	0	0	□	□	成果物には十分な記載(書き込み)があった
			得点	0	0	■	■	成果物の内容が理解しうる表現であった
						□	□	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	配点	0.56		■		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
			得点率	0		□		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
			得点	0		■		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
						□		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
	課題への対応					□		※評価しない
		物理的条件 社会的条件	配点	0.28		■		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
						□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト	配点	0.28		■		利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた
						□		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
				機械	積算	機械	積算	
	小　計		配点	1.54	0.21			
			得点	0	0			
合　計			配点	3.915	0.9975			
			得点	0	0			
評 定 点				65.0	65.0			

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-1検査職員用（各分野）〔建築〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。（■が加点、□が減点）

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率-1） =1⇒『やや劣』（得点率-0.5） =2⇒『普通』（得点率±0） =3⇒『やや優』（得点率0.5） =4⇒『優』（得点率1）							評価細目
				総合	構造	積算	総合	構造	積算	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	配点	1.2	0.6	0.4	■	■	■	成果物には審査できる最低限の記載（書き込み）があった
			得点率	0	0	0	□	□	□	成果物には十分な記載（書き込み）があった
			得点	0	0	0	■	■	■	成果物の内容が理解しうる表現であった
							□	□	□	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	配点	1.6	0.8		■	■		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
			得点率	0	0		□	□		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
			得点	0	0		■	■		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
							□	□		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応	配点	1.2	0.6	0.4	■	■	■	打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた
			得点率	0	0	0	□	□	□	打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた
			得点	0	0	0	■	■	■	発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた
							□	□	□	発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応								□	※評価しない
		物理的条件 社会的条件	配点	0.8	0.4		■	■		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0	0		□	□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0	0		■	■		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
							□	□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト	配点	0.8	0.4		■	■		利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0	0		□	□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0	0		■	■		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた
							□	□		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
				総合	構造	積算	総合	構造	積算	
合　計			配点	5.6	2.8	0.8				
			得点	0	0	0				
評　定　点				65.0	65.0	65.0				

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表　③-2検査職員用（各分野）〔電気〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。（■が加点、□が減点）

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率-1） =1⇒『やや劣』（得点率-0.5） =2⇒『普通』（得点率±0） =3⇒『やや優』（得点率0.5） =4⇒『優』（得点率1）					評価細目
				電気	積算	電気	積算	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	配点	0.6	0.3	■	■	成果物には審査できる最低限の記載（書き込み）があった
			得点率	0	0	□	□	成果物には十分な記載（書き込み）があった
			得点	0	0	■	■	成果物の内容が理解しうる表現であった
						□	□	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	配点	0.8		■		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
			得点率	0		□		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
			得点	0		■		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
						□		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応	配点	0.6	0.3	■	■	打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた
			得点率	0	0	□	□	打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた
			得点	0	0	■	■	発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた
						□	□	発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応						□	※評価しない
		物理的条件 社会的条件	配点	0.4		■		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
						□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト	配点	0.4		■		利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた
						□		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
				電気	積算	電気	積算	
合　計			配点	2.8	0.6			
			得点	0	0			
評　定　点				65.0	65.0			

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』（得点率-1） =1⇒『やや劣』（得点率-0.5） =2⇒『普通』（得点率±0） =3⇒『やや優』（得点率0.5） =4⇒『優』（得点率1）					評価細目
				機械	積算	機械	積算	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	配点	0.6	0.3	■	■	成果物には審査できる最低限の記載（書き込み）があった
			得点率	0	0	□	□	成果物には十分な記載（書き込み）があった
			得点	0	0	■	■	成果物の内容が理解しうる表現であった
						□	□	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	配点	0.8		■		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
			得点率	0		□		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
			得点	0		■		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
						□		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応	配点	0.6	0.3	■	■	打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた
			得点率	0	0	□	□	打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた
			得点	0	0	■	■	発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた
						□	□	発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応						□	※評価しない
		物理的条件 社会的条件	配点	0.4		■		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた
						□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト	配点	0.4		■		利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた
			得点率	0		□		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
			得点	0		■		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた
						□		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
				機械	積算	機械	積算	
合　計			配点	2.8	0.6			
			得点	0	0			
評　定　点				65.0	65.0			

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表

※ 建築設計業務、設計意図を請負者等に正確に伝えるために行う業務、建築又は建築設備に関する診断業務、建築工事監理業務並びに敷地調査業務を除く建設コンサルタント業務の場合に適用する

業　務　情　報

発 注 者	（　　）
業 務 名 称	（　　）
発 注 方 式	（　　）
業 務 分 類	（ 1 ） ※創意工夫の余地が大きい業務は1、小さい業務は2を入力する。
調査員比率	総　　括（ 0.35 ） その他調査員（ 0.65 ）
各分野比率	○○分野（ 0.400 ）
（0か数字を記入）	△△分野（ 0.300 ）
	□□分野（ 0.300 ）
受 注 者	（　　）
協力事務所	（　　）

業務評定点

基礎点	（ 65.0 ）
総合点（減点無し）	（ 65.0 ）

管理担当者評定点

管理担当者	（ 65.0 ）

業務評定点（総合点：減点無し）の分野別内訳

○○分野	（ 65.0 ）
△△分野	（ 65.0 ）
□□分野	（ 65.0 ）

評　定　点（オプション ）　※任意使用

総合点		オプション点		評定点（オプション）
（ 65.0 ）	＋	（　　）	＝	（ 65.0 ）

参考

業務評定点（総合点）の内訳

業務名		
受注者名		
業務評定点（総合点：減点無し）	65	点
業務履行中及び完了時に生じた事由による減点		点
業務完了後に生じた事由による減点		点

業務評定点（総合点：減点無し）の加減点数の評価項目別内訳

評価項目		評価の視点	項目の分類	指標	得点		配点
業務の実施能力	業務実施体制	業務態勢、自主管理	基礎	0	0.00	／	1.00
	管理担当者の能力	業務の全体把握、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力（プレゼンテーション力）、協調性	基礎	0	0.00	／	2.00
	主任担当者の能力	他分野との調整、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力（プレゼンテーション力）、協調性）	基礎	0	0.00	／	2.00
業務の実施状況	業務履行中の説明資料に関する評価	記載の程度、説明資料の内容	基礎	0	0.00	／	4.00
	調整及び説明、対応の迅速性	基礎：打合せ内容の理解、記録、指示・協議事項への対応 創意工夫：提案等の説明（プレゼンテーション力）	基礎	0	0.00	／	2.00
			創意工夫	0	0.00	／	1.00
	与条件の理解、業務への反映	基礎：与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討、仕様書・基準類の理解 創意工夫：創意工夫、積極的な提案、専門的な知識、法令等の理解、関係機関等との調整	基礎	0	0.00	／	4.00
			創意工夫	0	0.00	／	3.00
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度、成果物の内容	基礎	0	0.00	／	20.00
	課題への対応	提案力、改善力	創意工夫	0	0.00	／	8.00
			小計（基礎項目）		0.00	／	35.00
			小計（創意工夫項目）		0.00	／	12.00
			合計		0.00	／	35.00

（表の見方）
１）評定点は６５点を標準として加減点最大±３５点で算出している。
２）加減点数の項目別の配点は、業務内容によって異なる。
３）本業務の受託者が得点した点数を項目別に指標化している。
４）指標は０を標準（加減点なし）とし、－１００から＋１００までの整数で表示している。
５）「創意工夫の余地の小さい業務」については、創意工夫項目の評価を行わない。

採点表　　採点結果（加減点分のみ）

	評価項目	配点	評価の視点	配点	創意工夫の余地 業務大きい	創意工夫の余地 業務小さい	総括調査員	主任調査員または調査員 各分野 ○○分野 □□	△△分野 □□	□□分野 □□		加減点数の評価項目別内訳
							①	②-1	②-2	②-3		
	総括調査員評定点、主任調査員と各分野評定点の合計の比率						0.35	0.65				
	各分野比率						―	0.4	0.3	0.3		
体制評価	業務の実施能力											
	業務実施体制	1	実施体制、自主管理	1	●	●	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務）											
	管理担当者の能力	2	業務の全体把握	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0
	5 ／5		（業務全体に関する評価）	工程管理	0.5	●	●	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の小さい業務）		取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0
	5 ／5		説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0
							0	0	0	0	65.0	←管理担当者評点
	主任担当者の能力	2	他分野との調整	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0
	（担当分野に関する評価）		工程管理	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0
			取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0
プロセス評価	業務の実施状況											
	業務履行中の説明資料	4	記載の程度	2	●	●	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務課題（		に関する評価	説明資料の内容	2	●	●	0	0	0	0	0
	14 ／14	調整及び説明、対応の迅速性	3	打合せ内容の理解、記録	1	●	●	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の小さい業務）		指示、協議事項への対応	1	●	●	0	0	0	0	0	0
	10 ／10		提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	●		―	0	0	0	0	0
		与条件の理解、業務への反映	7	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	2	●	●	0	0	0	0	0
			仕様書、基準類の理解	2	●	●	0	0	0	0	0	0
			創意工夫、積極的な提案	1.5	●		―	0	0	0	0	0
			専門的な知識、法令等の理解、関係機関等との調整	1.5	●		―	0	0	0	0	0
結果評価	業務目的の達成度											
	業務目的の達成度	8	記載の程度	4	●	●	0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	0	0	0	0	0	0
	12 ／28	課題への対応	4	提案力、改善力	4	●		0	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の小さい業務）											
	8 ／20											
	調査職員評定点の計算	各分野得点			①		0	0	0	0		
		各分野配点			②		9.45	8.62	6.465	6.465		
		総括調査員評定点、総合評定点、各分野評定点（６５＋３５×①÷②）			③		65.0	65.0	65.0	65.0		
		調査職員得点（Σ①）			④		0					
		調査職員配点（Σ②）	31	（創意工夫の余地の大きい業務）	⑤		31					
			23	（創意工夫の余地の小さい業務）								
		調査職員評定点（６５＋３５×④÷⑤）			⑥		65.0					

	評価項目	配点	評価の視点	配点			検査職員 各分野 □□分野 □□	□□分野 □□	□□分野 □□		
							③-1	③-2	③-3		
	各分野比率						0.4	0.3	0.3		
結果評価	業務目的の達成度										
	業務目的の達成度	12	記載の程度	4	●	●	0	0	0	0	0
	（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	0	0	0	0	0
	16 ／28		資料等の整理、指示、協議事項への対応	4	●	●	0	0	0	0	
	（創意工夫の余地の小さい業務）	課題への対応	4	提案力、改善力	4	●	0	0	0	0	0
	12 ／20										
	検査職員評定点の計算	各分野得点			⑦		0	0	0		
		各分野配点			⑧		6.4	4.8	4.8		
		各分野評定点（６５＋３５×⑦÷⑧）			⑨		65.0	65.0	65.0		
		検査職員得点（Σ⑦）			⑩		0				
		検査職員配点（Σ⑧）	16	（創意工夫の余地の大きい業務）	⑪		16				
			12	（創意工夫の余地の小さい業務）							
		検査職員評定点（６５＋３５×⑩÷⑪）			⑫		65.0				

採点表　　配点（加減点分のみ）

評価項目		評価の視点		創意工夫の余地 大きい業務	創意工夫の余地 小さい業務	総括調査員	主任調査員または調査員 各分野 ○○分野	△△分野	□□分野		加減点数の評価項目別内訳
	配点	直接評価	配点			①	□□ ②-1	□□ ②-2	□□ ②-3		
	総括調査員評定点、主任調査員と各分野評定点の合計の比率					0.35	0.65				
	各分野比率					—	0.4	0.3	0.3		
体制評価 業務の実施能力	業務実施体制 1	実施体制、自主管理	1	●	●	0.35	0.26	0.195	0.195	1	1
（創意工夫の余地の大きい業務）	管理担当者の能力 2	業務の全体把握	0.5	●	●	0.7	0.13	0.0975	0.0975	0.5	2
5 ／5	（業務全体に関する評価）	工程管理	0.5	●	●		0.13	0.0975	0.0975	0.5	
（創意工夫の余地の小さい業務）		取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●		0.13	0.0975	0.0975	0.5	
5 ／5		説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●		0.13	0.0975	0.0975	0.5	
						0.7	0.52	0.39	0.39	2	←管理担当者配点
	主任担当者の能力 2	他分野との調整	0.5	●	●	0.7	0.13	0.0975	0.0975	0.5	2
	（担当分野に関する評価）	工程管理	0.5	●	●		0.13	0.0975	0.0975	0.5	
		取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●		0.13	0.0975	0.0975	0.5	
		説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●		0.13	0.0975	0.0975	0.5	
プロセス評価 業務の実施状況	業務履行中の説明資料 4	記載の程度	2	●	●	1.4	0.52	0.39	0.39	2	4
（創意工夫の余地の大きい業務）	に関する評価	説明資料の内容	2	●	●		0.52	0.39	0.39	2	
14／14	調整及び説明、対応の迅速性 3	打合せ内容の理解、記録	1	●	●	0.7	0.26	0.195	0.195	1	2
（創意工夫の余地の小さい業務）		指示、協議事項への対応	1	●	●		0.26	0.195	0.195	1	
10／10		設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	●		—	0.4	0.3	0.3	1	1
	与条件の理解、業務への反映 7	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	2	●	●	1.4	0.52	0.39	0.39	2	4
		仕様書、基準類の理解	2	●	●		0.52	0.39	0.39	2	
		創意工夫、積極的な提案	1.5	●		—	0.6	0.45	0.45	1.5	3
		専門的な知識、法令等の理解、関係機関等との調整	1.5	●		—	0.6	0.45	0.45	1.5	
結果評価 業務目的の達成度	業務目的の達成度 8	記載の程度	4	●	●	1.4	1.04	0.78	0.78	4	8
（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	1.4	1.04	0.78	0.78	4	
12／28	課題への対応 4	提案力、改善力	4	●		1.4	1.04	0.78	0.78	4	4
（創意工夫の余地の小さい業務）							0	0	0	0	
8／20											
調査職員評定点の計算	各分野得点		①								
	各分野配点		②			9.45	8.62	6.465	6.465		
	総括調査員評定点、総合評定点、各分野評定点（６５＋３５×①÷②）		③								
	調査職員得点（Σ①）		④								
	調査職員配点（Σ②） 31 23	（創意工夫の余地の大きい業務） （創意工夫の余地の小さい業務）	⑤			31					
	調査職員評定点（６５＋３５×④÷⑤）		⑥								

評価項目		評価の視点				検査職員 各分野 □□分野	□□分野	□□分野		
	配点		配点			□□ ③-1	□□ ③-2	□□ ③-3		
	各分野比率					0.4	0.3	0.3		
結果評価 業務目的の達成度	業務目的の達成度 12	記載の程度	4	●	●	1.6	1.2	1.2	4	12
（創意工夫の余地の大きい業務）		成果物の内容	4	●	●	1.6	1.2	1.2	4	
16／28		資料等の整理、指示、協議事項への対応	4	●	●	1.6	1.2	1.2	4	
（創意工夫の余地の小さい業務）	課題への対応 4	提案力、改善力	4	●		1.6	1.2	1.2	4	4
12／20										
検査職員評定点の計算	各分野得点		⑦							
	各分野配点		⑧			6.4	4.8	4.8		
	各分野評定点（６５＋３５×⑦÷⑧）		⑨							
	検査職員得点（Σ⑦）		⑩							
	検査職員配点（Σ⑧） 16 12	（創意工夫の余地の大きい業務） （創意工夫の余地の小さい業務）	⑪			16				
	検査職員評定点（６５＋３５×⑩÷⑪）		⑫							

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

採点表 ①総括調査員用

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.35	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 契約図書に基づき、実施体制を含む業務計画書等が期限までに提出された □ 提出された実施体制は、業務を適切に遂行できるような構成及び人員配置となっていた ■ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理担当者、業務担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理担当者の能力	管理担当者としての責務	0.7	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.75) =2⇒『やや劣』(得点率−0.5) =3⇒『やや劣』(得点率−0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を把握していた □ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を踏まえ、適時に適切な業務実施の方針を提示した ■ 業務全体について、必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った ■ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ業務を統轄した □ ■ 発注者に業務上必要な説明を行った □ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた
	主任担当者の能力	業務担当者の役割	0.7	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.75) =2⇒『やや劣』(得点率−0.5) =3⇒『やや劣』(得点率−0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 担当分野に関して、他の分野との調整が適切に行われ、十分な成果が得られた ■ 担当分野について、必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った ■ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ担当業務を行った □ 打合せ等などで自ら発言・提案を行うなどして、積極的に業務を行った ■ 発注者に業務上必要な説明を行った □ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた
	小計		1.75	0 ／ ±100					0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料に関する評価	業務履行中の説明資料に関する評価	1.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 説明資料は、理解しうる表現で最低限の記載(書き込み)があった □ 説明資料には十分な記載(書き込み)があり、理解しやすいように表現が工夫されていた ■ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無く、業務目的に沿った内容であった □ ミスはほとんど無く、発注者の意図が十分反映された内容となっていた
	調整及び説明対応の迅速性	調整及び説明対応の迅速性	0.7	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応がなされた □ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応が迅速に行われた ■ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に沿ったものであった □ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に十分応えるものであった
	与条件の理解 業務への反映	与条件の理解 業務への反映	1.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 与条件や必要な項目についての検討がなされた □ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった ■ 業務を行う上で必要となる基準や法令類等に関する知識を有していた □ 上記の知識が、業務内容に十分反映されていた
	小計		3.5	0 ／ ±100					0	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	1.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 成果物には最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	1.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を十分満たしていた ■ 成果物の内容は、発注者の意図に沿ったものであった □ 成果物の内容は、発注者の意図に十分応えるものであった
	課題への対応	提案力 改善力								□ ※評価しない
			1.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務遂行上必要となる課題と共に今後実施すべき検討事項、方針等の提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 業務の内容・精度を向上させる提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
	小計		4.2	0 ／ ±100					0	
合計			9.45	0 ／ ±100					0	
評定点				0 ／ 9.45 × 35 ＋ 65 ＝					65	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ②-1主任調査員又は調査員用(各分野)〔　　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。■が加点、□が減点。
(09-06.pdf)

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.26	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ■ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理担当者、業務担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理担当者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ■ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ ■ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ■ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ■ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた ■ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ■ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ■ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.13	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ■ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小　計		1.3	0 ／ ±100					0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料に関する評価	記載の程度	0.52	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 説明資料には最低限の記載(書き込み)があった □ 説明資料には十分な記載(書き込み)があった ■ 説明資料の内容が理解しうる表現であった □ 説明資料の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		説明資料の内容	0.52	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ■ 説明資料は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 説明資料は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.26	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ■ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.26	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ■ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		提案等の説明 (プレゼンテーション)								□ ※評価しない
			0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 説明資料が準備されていた □ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ■ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった □ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

採点表 ②-1主任調査員又は調査員用(各分野)〔　　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点	得点率 (優 1.0 / やや 0.5 / 普通 0 / やや −0.5 / 劣 −1.0)	得点	評価細目
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.52	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた □ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ■ 業務の各段階で必要な検討がなされていた □ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解	0.52	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「仕様書等」という。)を概ね理解していた □ 発注者側の指導が必要ないほど、仕様書等を十分に理解していた ■ 実施方針や検討成果は、仕様書等に概ね沿った内容となっていた □ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど仕様書等を踏まえた内容となっていた
		創意工夫 積極的な提案				□ ※評価しない
			0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った □ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた ■ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた □ 提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 関係機関等との調整				□ ※評価しない
			0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた □ 提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた ■ 関係機関等の関係者との調整を行った □ 関係機関等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
	小　計		4.2	0 ／ ±100	0	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	1.04	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	1.04	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を十分満たしていた ■ 成果物の内容は、発注者の意図に沿ったものであった □ 成果物の内容に、発注者の意図に十分応えるものであった
	課題への対応					□ ※評価しない
		提案力 改善力	1.04	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 業務遂行上必要となる課題と共に今後実施すべき検討事項、方針等の提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 業務の内容・精度を向上させる提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
	小　計		3.12	0 ／ ±100	0	
合　計			8.62	0 ／ 100	0	
評定点				0 ／ 8.62 × 35 ＋ 65 ＝	65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ②-2主任調査員又は調査員用(各分野)〔　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。■が加点、□が減点

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.195	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ■ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理担当者、業務担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理担当者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ■ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ ■ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ■ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ■ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた ■ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ■ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ■ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ■ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小　計		0.975	0　／　±100					0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料に関する評価	記載の程度	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 説明資料には最低限の記載(書き込み)があった □ 説明資料には十分な記載(書き込み)があった ■ 説明資料の内容が理解しうる表現であった □ 説明資料の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		説明資料の内容	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ■ 説明資料は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 説明資料は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.195	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ■ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.195	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ■ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		提案等の説明 (プレゼンテーション)								□ ※評価しない
			0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 説明資料が準備されていた □ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ■ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった □ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

採点表 ②-2主任調査員又は調査員用(各分野)〔　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点	得点率 (優 1.0 / やや 0.5 / 普通 0 / やや −0.5 / 劣 −1.0)	得点	評価細目
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた □ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ■ 業務の各段階で必要な検討がなされていた □ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「仕様書等」という。)を概ね理解していた □ 発注者側の指導が必要ないほど、仕様書等を十分に理解していた ■ 実施方針や検討成果は、仕様書等に概ね沿った内容となっていた □ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど仕様書等を踏まえた内容となっていた
		創意工夫 積極的な提案				□ ※評価しない
			0.45	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った □ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた ■ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた □ 提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 関係機関等との調整				□ ※評価しない
			0.45	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた □ 提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた ■ 関係機関等の関係者との調整を行った □ 関係機関等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
	小　計		3.15	0 ／ ±100	0	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.78	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	0.78	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を十分満たしていた ■ 成果物の内容は、発注者の意図に沿ったものであった □ 成果物の内容に、発注者の意図に十分応えるものであった
	課題への対応					□ ※評価しない
		提案力 改善力	0.78	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 業務遂行上必要となる課題と共に今後実施すべき検討事項、方針等の提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 業務の内容・精度を向上させる提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
	小　計		2.34	0 ／ ±100	0	
合　計			6.465	0 ／ ±100	0	
評定点				0 ／ 6.465 × 35 ＋ 65 ＝	65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ②-3主任調査員又は調査員用(各分野)〔　　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。■が加点、□が減点。
(09-06.pdf)

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	得点率 やや 0.5	得点率 普通 0	得点率 やや −0.5	得点率 劣 −1.0	得点	評価細目
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.195	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ■ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理担当者、業務担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理担当者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ■ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ ■ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ■ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ■ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた ■ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ■ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ■ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0975	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ■ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小　計		0.975	0 ／ ±100					0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料に関する評価	記載の程度	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 説明資料には最低限の記載(書き込み)があった □ 説明資料には十分な記載(書き込み)があった ■ 説明資料の内容が理解しうる表現であった □ 説明資料の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		説明資料の内容	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ■ 説明資料は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 説明資料は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.195	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ■ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.195	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ■ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		提案等の説明 (プレゼンテーション)								□ ※評価しない
			0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 説明資料が準備されていた □ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ■ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった □ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

採点表 ②-3主任調査員又は調査員用(各分野)〔　　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点	得点率 (優 1.0 / やや 0.5 / 普通 0 / やや −0.5 / 劣 −1.0)	得点	評価細目
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた □ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ■ 業務の各段階で必要な検討がなされていた □ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解	0.39	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「仕様書等」という。)を概ね理解していた □ 発注者側の指導が必要ないほど、仕様書等を十分に理解していた ■ 実施方針や検討成果は、仕様書等に概ね沿った内容となっていた □ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど仕様書等を踏まえた内容となっていた
		創意工夫 積極的な提案				□ ※評価しない
			0.45	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った □ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた ■ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた □ 提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 関係機関等との調整				□ ※評価しない
			0.45	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた □ 提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた ■ 関係機関等の関係者との調整を行った □ 関係機関等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
	小　計		3.15	0 ／ ±100	0	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.78	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	0.78	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を十分満たしていた ■ 成果物の内容は、発注者の意図に沿ったものであった □ 成果物の内容に、発注者の意図に十分応えるものであった
	課題への対応					□ ※評価しない
		提案力 改善力	0.78	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 業務遂行上必要となる課題と共に今後実施すべき検討事項、方針等の提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 業務の内容・精度を向上させる提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
	小　計		2.34	0 ／ ±100	0	
合　計			6.465	0 ／ ±100	0	
評定点			0 ／ 6.465 × 35 ＋ 65 ＝		65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-1検査職員用(各分野)〔　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	−0.5	−1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	1.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	1.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を十分満たしていた ■ 成果物の内容は、発注者の意図に沿ったものであった □ 成果物の内容は、発注者の意図に十分応えるものであった
		資料等の整理 指示、協議事項への対応	1.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた □ ■ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応									□ ※評価しない
	課題への対応	提案力 改善力	1.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	■ 業務遂行上必要となる課題と共に今後実施すべき検討事項、方針等の提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 業務の内容・精度を向上させる提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
合　計			6.4	0 ／ ±100					0	
評定点			0 ／ 6.4 × 35 ＋ 65 ＝						65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-2検査職員用(各分野)〔　　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
				優 1.0 / やや 0.5 / 普通 0 / やや −0.5 / 劣 −1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を十分満たしていた ■ 成果物の内容は、発注者の意図に沿ったものであった □ 成果物の内容は、発注者の意図に十分応えるものであった
		資料等の整理 指示、協議事項への対応	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた □ ■ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応					□ ※評価しない
	課題への対応	提案力 改善力	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 業務遂行上必要となる課題と共に今後実施すべき検討事項、方針等の提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 業務の内容・精度を向上させる提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
合　計			4.8	0 ／ ±100	0	
評定点			0 ／ 4.8 × 35 ＋ 65 ＝		65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-3検査職員用(各分野)〔　　〕

「地方整備局等建築設計委託業務成績評定要領の運用について」
(09-06.pdf)

※該当する評価項目の『□』を『■』に置き換える。(■が加点、□が減点)

評価項目		評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
				優 1.0 / やや 0.5 / 普通 0 / やや −0.5 / 劣 −1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ■ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、契約図書に示された所要性能を十分満たしていた ■ 成果物の内容は、発注者の意図に沿ったものであった □ 成果物の内容は、発注者の意図に十分応えるものであった
		資料等の整理 指示、協議事項への対応	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた □ ■ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応					□ ※評価しない
	課題への対応	提案力 改善力	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0	0	■ 業務遂行上必要となる課題と共に今後実施すべき検討事項、方針等の提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ■ 業務の内容・精度を向上させる提案が自主的になされた □ 採用された提案は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
合　計			4.8	0 ／ ±100	0	
評定点			0 ／ 4.8 × 35 ＋ 65 ＝		65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。